

釜・大街道地区 復興事業説明会 議事録（摘録）

日 時：2011/12/8 18：00～19：00

（全体の質疑を早めに終了し、個別相談窓口で対応）

対 象 町 名：大街道東二丁目

総参加者数：122名（参加地権者数：99名／129名）

1 開会

2 挨拶：基盤整備課長

3 説明事項（35分程度）

◇地区の復興計画について

◇まちづくりと住宅の建設に関わる事業等について

4 意見交換（25分程度）

- ・高盛土道路の計画は既存の工業港の道路を利用したほうが整備は早く、安く出来るのではないか。なぜ今の位置にしたのか。
⇒位置については今回と同じ津波が来たときに高盛土道路で止めることが出来る位置としました。堤防の高さを7.2mとして、工業港の道路を高くして津波を止めようと計画したが止まりませんでした。シミュレーションによって津波が止まるのが現在の計画している位置となったため道路の位置を決めました。
- ・今回のシミュレーションはどの時点のデータを使用したものか。建物についてはあったものと仮定して行っているのか。
⇒現在の地盤で今回の津波を再現した。3年から5年以内で作られる堤防、建物を現在の地形におとし、今回の津波が来たときの潮の状況を踏まえシミュレーションを行っています。
- ・高盛土道路は防潮林を植えるなどして現在の位置から南に下げることができないのか
⇒様々な検討をした結果、現在の位置となりました。
- ・高盛土道路以外の都計道の整備の時期は高盛土道路の整備と同じ時期か。
⇒矢本流留線は平成24年から設計、測量を行います。地区内の避難道路計画については地権者の意向を踏まえ計画を行います。意向調査を行い、3月までにはお示しできる予定です
- ・津波の被害を受けた家の移転や補償について知りたい。
⇒土地の補償に加えて建物の補償も行います。補償の仕方については様々なケースが

あるため、個別に相談していきたいと考えています。

- ・千年に一度の津波から守るために防潮堤 7m を整備し、5m の高盛土道路の整備をする必要があるのか。土地利用を考え、道路の位置を下げ、移転の少ないような事業にしてほしい。

⇒千年に一度や数百年に一度といわれているが、現在調査中でどの程度の頻度で来るかわかりません。安全なまちづくりを行うためにご理解ください。

- ・産業系ゾーンに建物があるが解体の期限はいつまでか。

⇒個別にご相談ください。全体に言えるのは産業系ゾーンや道路にかかる人の土地については単価を決めて買収する予定で、建物については現在の家の状態で補償額の積算を行います。例えば壊れ具合がひどくて大部分を直さなければならない場合の補償額は低くなってしまいます。期限については決まり次第お知らせします。

- ・高盛土道路と工業港線の都計道の交差は立体、トンネルのどちらなのか。今回の津波で交差部分がトンネルになっているところは津波の被害が大きかったと聞いた。

⇒立体交差で考えています。鉄道部分については JR と協議して津波が入って来ないような対策を行っていきたいと思います。

- ・過去の地震に比べ地震発生から津波が来るまで時間があつた。現在住んでいる地域(産業系ゾーン)は長い年月をかけて地盤をかけ形成された地区で、避難の連絡が迅速であり、住宅や産業の復旧が早く出来た。今の場所では 5 分程度で高台に避難できるため移転を考慮できないか。1000 年に一度の津波に対する計画もいいが経済的、実用的なことを考え、計画を行ってほしい。

⇒釜地区全体として日和山や山手の方に逃げるためにハードの面として都計道を避難路として横軸と縦軸を整備し、ソフトの面として地区防災や防災教育、避難ビルを整備し、トータルで防災に強いまちづくりを進めていくのでご理解ください。

以上